

令和 8 年度 学校だより



子供たちの主体性を育み、伸ばす小学校



東山

Higashiyama Elementary School

11月号

令和 8 年10月28日

目黒区立東山小学校

校長 村尾 勝利

「なぜ、コイツは止まっているんじゃろ」と言いながら、ジューッとトンボを眺めて
探究していた碓合憲三（そあいけんそう）少年は大きくなってノーベル化学賞を受賞した
副校長 平田 孝一郎

今年のノーベル化学賞を、日本の碓合憲三（そあいけんそう）さん（76歳）が受賞しました。大変うれしく思います。

碓合さんの研究功績は、生命誕生の秘密の1つを解き明かしたことにありと評価されています。地球が生まれたころは、左右対称の分子が半々程度あったのに、時間の流れと共に、特定の型の分子のみが増え、それらの分子が生命となっていった。碓合さんは実験で人口的に特定の型の分子のみが増える反応を起こすことに成功しました。碓合さんの名を取って、「Soai（そあい）反応」と名付けられているそうです。すごいですね。

さて、そんな碓合さんはどんな子供だったのでしょうか。小学校から碓合さんを知る同級生は、虫採りに行った時、他の子が「ワ～ッ」走り回っている横で、碓合さんは「なぜ、コイツはここに止まっているんじゃろ」なんて言いながら、ジューッとトンボを眺めて観察をしていた、他の人とは視点が違っていたと語っています。

飛びまわるトンボではなく、じっとしているトンボに目を向け、なぜ止まっているのかという問いをもち、まずじっくりと観察する。まさに、本校が進めている「探究」の学習と重なるところです。本校の児童も、教科の内容の枠にとらわれず、自ら問いをもち、グループで共通課題を設定し、観察したり、調べたりして、じっくりと探究に取り組んでいます。

順調に探究が進んでいる児童もいれば、時に探究が行き詰まり、よい資料や時間が足りない、同じグループの友達と考えをまとめることが難しいなど、様々な課題に悩んでいる児童もいるでしょう。研究で大事にしていることは何かとインタビューを受けた碓合さんは「うまくいかないことがあっても、実験を行うこと」と答え、困難があってもあきらめないうまくいくことの重要性を訴えています。碓合さんのように本校の児童にも、粘り強く自らの探究を進めてほしいと思います。

来る11月28日（土）学校公開では、探究活動の学習を公開いたします。ぜひ当日の探究の発表などに加えて、探究の過程にあった児童の努力や工夫、試行錯誤の姿まで心を配ってご覧いただければ幸いです。

11月の生活目標 「 探究発表会に向けてまとまりをもって生活しよう ! 」

第1週 授業に集中しよう !

第2週 アイパッドの使い方を見直そう !

第3週 あったか言葉をかけ合って団結しよう !

第4週 誰とでも礼儀正しく接し合おう !

放課後の学校に、忘れ物を取りに来ることはご遠慮ください。

- ・放課後は、教職員が不在のこともあり、忘れ物の対応を行うことが困難な場合があります。
- ・児童のみで忘れ物を探すことは、学校まで行き・帰りと校舎内における事件・事故のリスクがあります。（保護者の方が同伴の場合も取りに来ることはご遠慮ください。）
- ・学校に忘れ物をしたことで宿題ができない、提出物が出せないということがあれば、次の日の朝、学級担任にご連絡・ご相談ください。
- ・学校でも、児童に同様の指導を行います。

11月 下校時間

*清掃担当児童(火・金)はさらに10分程度遅くなります。

*急な変更・追加はすぐメールで連絡いたします。

		行事	最終下校時刻					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	日	(運動会延期予定日)						
2	月	振替休業日						
3	火	文化の日						
4	水	全校朝会	13:35					
5	木	健康指導	14:20		15:05			
6	金	4時間授業 安全指導	13:00					
7	土							
8	日							
9	月	5時間授業	13:35 (1年1組・1年6組・4年5組・4年6組は研究授業のため 14:25下校)					
10	火	避難訓練	14:20		15:05			
11	水	4時間授業	13:05 (2年2組・6年4組は研究授業のため 14:45下校)					
12	木	イングリッシュルームの日	14:20		15:05			
13	金	ともあそび	14:00	14:40		15:00		
14	土							
15	日							
16	月	5.6年委員会活動	13:35				14:55	
17	火	学年集会	14:20		15:05			
18	水	いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議(6年)	13:35					15:45
19	木		14:20		15:05			
20	金		13:35	14:40		15:00		
21	土							
22	日							
23	月	勤労感謝の日						
24	火	5時間授業 4.5.6年クラブ活動	13:35			15:00		
25	水	4時間授業	13:00					
26	木		14:20		15:05			
27	金		13:35	14:40		15:00		
28	土	学校公開「キラリ☆学習フェスタ」	12:40					
29	日							
30	月	振替休業日						

各学年の運動会「団体競技」について

1年生

「ダンシング玉入れ」

1回戦、2回戦で踊る曲を変え、楽しく元気に玉入れをしました。1回戦は「チェックリ」に合わせて可愛いダンスを、2回戦は「エビカニクス」で、エビとカニになりきり元気にダンスをしました。玉入れのパートでは、籠をめがけて懸命に玉を投げていました。



2年生

「大玉転がし」

4人1組のチームで、楽しく取り組みました。最初は、上手く息が合わないこともありましたが、声を掛け合いながら協力して取り組みました。



3年生

「2人でGO」

大きなズボンに2人で入り、息を合わせてゴールを目指しました。ペアで声を掛け合いながら、最後まで走り抜けることができました。白熱したレースが繰り広げられ、会場は大いに盛り上がりました。



4年生

「台風の日」

4～5人で1本の長い棒を持ち、息を合わせながら素早くコーンの周りを回ります。外側の人とは、振り回されないように一生懸命走り、内側の人とは、台風の中となり、踏ん張って棒を回していました。



5年生

「長縄」

体育の授業や休み時間なども練習してきました。チームで心をつなげて、1回でも多く跳ぶことに集中しました。3回戦が終わった結果は、わずか6回差!!僅差の勝負となりました。



6年生

「騎馬戦」

4、5人で騎馬を組み、仲間と力を合わせて勝利を目指しました。各騎馬で帽子を取るための作戦、帽子を守るための作戦を考えました。果敢に攻めたり必死に守ったりする姿に会場が盛り上がりました。



小中連携 「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」

生活指導部

目黒区では、年間3回「小中連携の日」を設定し、東山小・烏森小・東山中の教員による授業参観や教員同士の情報交流を行っています。その中に「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」があり、11月18日に東山中学校の2年生と烏森小学校・東山小学校の6年生の児童がいじめを防止するための各校の取り組みなどについて話し合いをします。

今年度は、

『いじめに気付ける学校をめざして』 ～一人一人が「今」できること～

をテーマに、事前に3校共通の「いじめにつながる事例」を基に、各学級での話し合いから「わたしの行動宣言」の原案を児童・生徒一人一人が作成し、話し合いに臨みます。

子ども会議で話し合った内容やスローガンは、代表委員会が全校へ周知し、各教室にスローガンを掲示します。いじめのない学校をつくるために、自分に関係ないと思わずに自分の行動を振り返り、見直していく機会にしていきます。

学級活動(学級会)について

特別活動部

学級活動(学級会)は、子供たちがよりよい学級や学校生活をつくるために、課題を見つけ、解決に向けて話し合い、協力し合って進めていく活動です。自分の考えを伝え、友達の意見を尊重しながら合意形成を図る力や、主体的に課題を解決する力、協力する力を育てていきます。

私が担当する学級では「前期のお楽しみ会の出し物を考えよう」という議題で話し合い活動を行いました。司会進行を行う計画委員会が中心となり、学級会の運営を行いました。

学級会では、みんなが楽しめるためのルールや必要な準備などを子供たちが考え、意見を出し合いながら遊びを決めました。

このような学級活動を積み重ね、「自分たちで考えて、実践できた!」という喜びや達成感を味わいながら、一人一人が学級の一員としての自信や所属感を高められるようにしていきます。

学校保健委員会について

生活指導部

9月30日(水)に、令和8年度学校保健委員会を開催しました。前半は、東山小学校の体育・保健・給食の報告と、学校医の先生方からのお話を伺いました。後半は、健康トレーナーの大川綾子先生をお招きし「足育」をテーマに講演と実技を行いました。大川先生からは、足は第二の心臓であり、血液を心臓に押し戻すポンプ作用があることや、足をたくさん動かすことで、姿勢改善やけが防止、脳の活性化につながることで、健康寿命を延ばすために、歩く機会を増やしたり、自分の足に合った靴を選んだりすることが大切だというお話がありました。親子でご参加いただいた方も多く、皆で体を動かしながら足育の大切さを知る良い機会となりました。本会の概要は、保健だより11月号に掲載しております。

読書推進の取り組み

学芸的行事委員会

本校では、子供たちが読書に親しむことができるように、「読書貯金」の取り組みを行っています。読んだ本の題名やページ数を「貯金」という形で日々記録するもので、多くの児童が楽しみながら読書をしています。前期終了時の表彰では、合計 194 名の児童が「多読賞」を受け取ることができました。

本には、新しい知識や面白い発見、心を動かすような感動など、たくさんの魅力が詰まっています。読書貯金をきっかけに、様々な本と出会い、読書の楽しさをさらに感じてほしいと思います。子供たちの豊かな心と学びを育ていけるように、後期も読書活動を進めてまいります。

本校の算数科指導について

算数少数担当

本校では、学級担任に加えて算数少数担当教員が入り、全学年で3学級を4コース、2学級を3コースに分けて指導を行っています。コース数を増やすことにより1コース当たりの人数を調整し、少数指導を行っています。更にクラス編成を習熟度別にすることで、児童の実態に合わせて発展的な学習から基礎的基本的な内容に焦点を絞った学習まで、指導の工夫を行っています。

算数は他教科と比べて、各学年の学習内容の積み重ねが次学年以降の学習の理解に直結します。今後も日々の授業を充実させ、資質・能力の育成を目指していきます。

ハイブリッド型自己調整学習（後期）

研究部



前期のハイブリッド型自己調整学習では、児童が自分で調べる課題の範囲が広がりすぎてしまったという課題が見られました。そこで、後期にハイブリッド型自己調整学習に取り組んだ学年は、学習のねらいに合った課題を設定できるよう、場の設定や学習環境を工夫しました。例えば、6年生の走り高跳びでは、より高く飛ぶことに挑戦できるよう、ゴールネットに触れる場所を用意しました。5年生の理科「振り子の運動」では、様々なボールを用意し、振り子の振れ方や振れ幅を実際に調べられる環境を整えました。このように、学習のねらいに応じて場所や環境を工夫することで、児童が目標を意識しながら、自分で課題を設定し、学習を進められるようにしました。

児童生徒表彰について

目黒区教育委員会では、学問・研究・文化、スポーツ、芸術の分野で優秀な成績を収めた児童・生徒及び団体を表彰しています。

個人表彰については、保護者等からの自己推薦により候補者を募集しています。表彰基準に該当すると思われる場合は、直接、区教育委員会事務局へ申請してください。

詳しくは、10月30日付けの保護者連絡システム「すぐーる」の配信（予定）をご確認いただくか、区公式ウェブサイトをご確認ください。

<応募メ切> 令和8年12月1日（火）まで

< 問合せ > 目黒区教育委員会事務局 教育政策課 教育総務係

TEL: 03-5722-9300（直通）

MAIL: kyoiku01@city.meguro.tokyo.jp



対象 | 区内在住のすべての小・中学生（学校の種別を問わず）

令和8年度 目黒区教育委員会

児童生徒表彰

候補者を募集します！

学問

スポーツ

芸術

の分野で優秀な成績を収めた
小・中学生の皆さんを表彰します

募集
締切

12月 1日

火

低温時の体育学習時の上着着用について

11月に入り、寒いと感じる日が増えていきます。体育学習時に体育着の上に上着を着用して運動をすることができます。着用する場合は、上着がひっかかるなどに伴う事故やけがを防ぐため、下記の条件を満たした上着のご準備をお願いいたします。記名もふくめて、ご協力をお願いいたします。学校でも児童に同様の指導を行います。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 フードがついていない | 2 ファスナーがついていない |
| 3 ひもがついていない | 4 ボタンがついていない |
| 5 ポケットがついていない | |



イメージ